

令和7年度久間地区地域コミュニティ総会開催 今年もみんなで楽しく活動を！！



4月25日(金)夜、令和7年度久間地区地域コミュニティ定期総会を開催しました。今年は今和6年ぶりにコミュニティセンターでの総会でした。各地区からの代議員20名及び関係諸団体代議員17名の代議員で総会は構成されます。代議員37名中出席数29名・委任状提出4名・欠席4名で総会は成立しました。コミュニティ役員も全員参加して総会が始まりました。



来賓の市長挨拶



写真提示して事業報告



コミュニティでの総会風景

ご臨席いただいた村上市長様・諸井市議会議員様の祝辞のあと山田龍介議長の進行で無事すべての議案が承認されました。今回の総会では、各部会の事業報告時にプロジェクトで活動時の写真を映しだして、より内容をわかりやすくしました。天吊り式のプロジェクトを設置したばかりでそのお披露目にもなりました。事業報告の時間も昨年より短縮されました。決算報告及び監査報告、役員の選任のあと、7年度の事業計画と予算案を提案し、質疑応答の後承認されました。今回は役員変更があり、志田勝英会長が退任され、総務・広報部会長であった田中三代司さんが新会長となること、中山廣文顧問が退かれ、志田勝英さんが新しく顧問に就任することが承認されました。

承認された7年度役員

役職	氏名	地区名	備考
会長	田中三代司	中久間	新任
副会長	松尾 一義	堤ノ上	再任
	坂本 美和子	光 武	再任
会計	上西 満	のぞえ	再任
監事	中野 正	北志田	再任
	江口 文男	南下久間	再任
顧問	光武 一行	南下久間	再任
	志田 勝英	牛間田	新任

※各部会の事業計画は6月号で

志田会長は5年もの間会長として各部会の活動を支え、自ら参加し、活発な久間コミュニティを作り上げてこられました。本当にお疲れ様でした。また、田中新会長の下、承認された役員を中心に、7年度の事業計画に基づきコミュニティ活動を進めていきます。地域の皆様の積極的な参加とご協力をお願いします。令和2年度から11年度までが「和みのさとづくり第2次計画の期間です。「笑顔あふれる安心安全な久間のさと」の実現をコミュニティは目指しています。会員は久間に住む方々全員です。いろいろな活動・サークルに気楽に参加してください。

コミュニティ会長退任及び新任の挨拶



爽やかな新緑の候、皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。最近の気候は春が短くなつたような感じで、体調の維持が大変になつたように思われます。

さて、久間地区地域コミュニティも発足してまる16年になりました。私も役員としてお世話になつて15年になり、前役員様及び地域の皆様のおかげで、久間地区地域コミュニティも地盤ができて部会活動もスムーズにできるようにになりました。地域の皆様には、大変お世話になり、多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年4月25日の定期総会をもって退任いたしました。

昨年度は未来アシスト事業を活用しての「志田焼の里博物館フェア」を実施することができた事は大変な成果だったと思います。これもひとえに皆様のおかげだったと感謝しております。今後は事業計画に基づき、久間地区地域コミュニティ活動がますます発展することを期待し、新役員様のご活躍を祈念申し上げます。

令和7年5月

久間地区地域コミュニティ運営協議会

前会長 志田勝英



「笑顔溢れる、安心安全な久間のさと」づくりを目指します。

若葉かおる初夏の候、久間地区の皆様におかれましては

ご健勝のこととお喜び申し上げます。私はこのたび先日の令和7年度久間地区地域コミュニティ運営協議会定期総会において会長に選任されました。

久間地区地域コミュニティでは令和2年に第2次10カ年計画が策定されて5年が経過しました。折り返しのこれからの5年は、10カ年計画を仕上げていかなければなりません。そのためには、地域の皆様方のご支援を賜り、久間地区コミュニティ6部会活動を充実させることが大切だと考えます。また、子供からお年寄りが一堂に集える場所作り、笑顔溢れる明るく開かれた居場所を作っていけたらと思います。

10カ年計画の目標である「笑顔溢れる安心安全な久間のさと」にしていくために、久間地区地域コミュニティでは全員一丸となって活動していきま

すので、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。最後になりましたが、前会長の志田勝英様お疲れ様でした。10カ年計画スタートと、コロナ禍の大変な時期に先頭に立ってみんなを引っ張ってこられました。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

久間地区地域コミュニティ運営協議会

会長 田中三代司

事務局長雑感

外食してお勘定の後に「ご馳走さま」は言うか言わないかの論争はよく聞く。対価(食事代)を支払っているのだから感謝の気持ちを伝える必要はないと思う人は結構いるようだ。横断歩道で渡った子供たちの止まってくれた車に対してペコリにも、同じことを感じている人がいるようでネット上で時々論争となるらしい。歩行者優先で、道路交通法でも車には止まる義務があるのだからお礼の意味での挨拶は必要でない。誰がこんなことを子供に対して教えているのか?と学校や地域の指導にまで文句をいう主張もある。運転している横断歩道で停車し、渡った人に会釈されると気持ちがいいのは自分だけだろうか。義務ではあっても自分が渡るために止まってくれた車にたいして会釈をするのは「思いやり」の心だと思ふ。何でも割りきって考えるより、人の心を思いやる子供に育って欲しいなど地域のオジサンは思う。

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分～4時15分まで

5月 西山
6月 のぞえ

よろしく
お願いします

